

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和4年度 第1回松阪市図書館協議会
2. 開 催 日 時	令和4年9月22日(木) 午後2時00分~午後3時30分
3. 開 催 場 所	松阪図書館 2階 講座室
4. 出席者氏名	(委 員) ◎ 辻淳子、○ 中村陽子、池田和香、遠藤佳静、佐々木尚子 鈴木美保、西岡裕子、濱田和男、横山みち代 (◎会長 ○副会長)  (事務局) 松阪市図書館館長 (株式会社図書館流通センター) 松岡 生涯学習課長 池田 生涯学習課長補佐 小泉 生涯学習係長 林 生涯学習係 藺部 生涯学習係 中村
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TFL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項・議事録

別紙

## 令和4年度 第1回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：令和4年9月22日（木）午後2時00分から午後3時30分

○開催場所：松阪図書館 2階 講座室

### ○議題

1. 開会
2. 役員選出
3. 会長挨拶
4. 自己紹介
5. 協議事項
  - ①令和4年度松阪市図書館概況について
  - ②第三次松阪市子ども読書活動推進計画（中間報告）
  - ③その他
    - ・三雲みんなの図書館コミュニカル及び飯高管内地域開放型図書館について
    - ・第8回ビブリオバトルまつさか大会報告
  - ④意見交換・提言
6. 閉会

### ○出席者氏名

【委員】辻淳子、中村陽子、池田和香、遠藤佳静、佐々木尚子  
鈴木美保、西岡裕子、濱田和男、横山みち代  
計9名

【事務局】松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 松岡  
生涯学習課長 池田  
生涯学習課長補佐 小泉  
生涯学習係 菌部  
生涯学習係 中村

## ●会長あいさつ

会長：皆さまのご協力をもって、この図書館協議会を色んな意見をいただきながら進めて参りたいと思います。今年は本当に年を明けてから社会の中でいろんなことが起こりまして、私は子どもの現場におりますけども、この子たちが大きくなった世界や日本はどのようになっていくのだろうと、すごく心配しながら今もおりますが、活字を読むというのはとても大事なことです。図書館の存在がこれからもっと大事になってくると思っています。やはりメディアとかで色んな部分で便利にはなっていますが、活字を読んで、文章を書くということを大事にしたいなと思っております。ぜひ色んな意見をいただきながら、図書館の意義を広げていただければと思っておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

## ●協議事項

### ①令和4年度松阪市図書館概況について

館長・事務局：令和4年度松阪市図書館概況について、ご説明します。

(資料に基づき、館長・事務局から説明)

内容…図書館利用統計、利用状況、定例行事・特別行事、展示コーナー、飯南・飯高地区貸出統計)

委員長：先ほどご説明いただいたが、何か皆さんご意見等ございましたら頂戴したいと思うが、どうでしょうか。

委員：利用者と貸出冊数ですが、資料2に指定管理開始からの年度の推移があるが、平成25年、26年、27年をピークにして嬉野は貸出冊数も利用人数も下がっている。松阪図書館の方は、コロナ禍の影響があるところは除いたとして順調に伸びているが、嬉野だけが下がっているところが気になった。嬉野地区というのは松阪の出たところで団地が多いので、その人の動向によってこういうことが起こっているのか、別の要因があるのかはわからなかったが、松阪図書館に比べて下がっているところが気になったので、原因等でお分かりになっているところがあれば教えてください。

館長：松阪図書館はリニューアルして、その影響をかなり受けているというのは一因かと思う。県内でもいろんな学習室のシステムとかネットコーナーとかが全て松阪図書館に集合しているのが原因かなとは思っている。

こちらに来て減少かなとは思いますが、コロナ禍になると、コロナの影響をかなり受けているということで、利用を控える方が多いのかなとこの1、2年嬉野は特に思われる。要因の一因としては、リニューアルで新しいものがこちらに揃っているというので利用が減ったというのもあるが、両館利用されている方もみえるので松阪図書館で貸出されて嬉野で返却されて、また嬉野で貸出されるという利用の方もみえるので、一概に言えないかなとは思う。

委員：開放型図書館以外に、飯高町の老人福祉センターと飯南町の文化センターで本を2か月に1回入れていただいていたかと思う。過去にもブックスタートの日に司書さんが入れ替えに来ていたが、今は松阪一本になっているので飯南町にブックスタートがない。今も入れ替えに来ていたか。

館長：ブックスタートの会場ではなくなったのですが、当然定期的に継続して行っている。

委員：図書館の継続利用は利便性の面が大きいと思う。その本がなくても予約できることなど、様々な面で考えられているなど非常に感じた。私がいづつも思うのは、一般図書でどういう系統のものがたくさん借りられているのかなと、その辺の傾向を聞きたい。

館長：毎年年報を作成しており、よく読まれた本のリストを出しているが令和3年度のものはまだできていないので、次回よろしければ傾向というのをお伝えできるかと思う。

委員：飯高はすごくありがたく、地域開放型図書館で小学校や中学校で松阪市の本も借りられ、そこにある本も借りられ、老人福祉センターで借りられるのは知っているが、ただ、例えば私は松阪図書館に来るまで45分かかった。勢和図書館だと20分で行ける。でも老人福祉センターだと3分で行ける。皆さん買い物に松阪に来るが、買い物したついでや鈴の森公園で遊んだついでに本当は本を借りたい。ただ、借りたらまた本を返しに来るためだけに来ないといけないのがすごく大変で、私も思っているし他の方に何度も言われたことがあるのが、老人福祉センターや地域開放型図書館へ松阪図書館で借りた本を返却できるようにしてほしいというのが、すごくよく聞くご意見。ここで返せたらいつでも何かの

ついでに寄って面白い本を借りて、飯高で返せたら借りに来られるの  
と思う。飯高では限られた本しか借りられない。リクエストもできるが、  
それは本をよく知っていて読みたい本が明確にある人にしかできない  
行動だと思うので、そういうことができたらいいなと思う。

館長 : そういう声も多く聞かれて、確かにそうだなと思う。また検討させてい  
ただく。

委員 : 資料 1-1 は 1 日あたりの利用者数となっているが、利用者登録件数とい  
うのは新規に登録した方ということか。

事務局 : その通りです。

委員 : 貸出冊数と利用者数の増減の評価をされたときに貸出者数のプラス、マ  
イナスを言った時に開館日数で割った時の 1 日あたりはマイナスになっ  
ているので評価自体はマイナスなのかと思う。減っているという評価に  
なると思った。

また資料 1-2 の松阪市図書館資料区分別貸出冊数について合計の増減の  
数字が間違っている。

事務局 : 資料 1-2 については申し訳ございません。皆さまのお手元の資料でご修  
正いただいてもよろしいか。以後気をつけさせていただく。評価方法に  
ついては検討させていただくような形で、第 2 回以降反映させていただ  
ければと思う。

委員 : 質問という訳ではないが、展示本コーナーもたまたま来たときに見かけ  
たがおもしろいなと思った。貸出 0 回の本というのも、意外に有名な人  
の本が借りられてなかったりして。こういうこともしていただけると、  
やはり自分の読みたい本の棚へ行ってしまうので、カウンターの近くの  
棚は 1 番見えるのでそこへそういう企画を入れていただけると、これも  
借りようかなと思える気がしていいなと思った。投票するとか、来た人  
が自分の意見とかちょっと何かできるというのも、ただ借りて帰る  
だけじゃなく、参加型というのはこれからどんどんしていただけるとい  
いなと思う。

委員：先ほど、アンケート的なものをするという声があったが、最近違う会の時に私は欠席だったが、その日に図書館の係の方のおすすめ本というのでコメントも書いてもらって、そういうのも時々表示されるとあったかいかなと思った。

## ②第三次松阪市子ども読書活動推進計画（中間報告）

事務局：「第三次松阪市子ども読書活動推進計画（中間報告）」についてご説明します。

（資料に基づき、説明）

意見なし

## ③その他

・三雲みんなの図書館コミュカル及び飯高管内地域開放型図書館について

事務局：「三雲みんなの図書館コミュカル及び飯高管内地域開放型図書館」、「第8回ビブリオバトルまつさか大会報告」についてご説明します。

（資料に基づき、説明）

委員：ビブリオバトルに参加した中学生というのはどこの学校か。

館長：殿中、三重中、飯高中等である。

委員：三雲みんなの図書館コミュカルについて、私は普段そこの利用者として近所でよく行くが、利用者数について児童が多いのは小学校についているからというのがあるが、一般の利用者数というのがすごく便利の良い場所にあるものの小学校の中に入ったということであまり伸びないという話をよく司書さんとする。せっかく小学校の中にできたので地域の人小学校に入りやすいように何かできることがないかという話をよくする。司書さんと話していたのが、絵本を読むためのちょっとした広場のようなスペースがあり、そちらでイベントをやったりすれば人が集まるのではないかと、私も参加させてもらって絵本のおはなし会をした。参加していただいた方は天白小学校の在校生の方がほとんどであったが、それ以外の方も赤ちゃんを連れて来てくれた。そういう赤ちゃん連れの方や年配の方もそこで囲碁や将棋ができるスペースがあったら

しかしたら来てくれるんじゃないかとか、色々計画しているもののコロナ禍に入ってしまった、そういうことも今はできないねという話をしていたが、今後もっと皆さんが色々なことで接することができるイベントを小学校とコミユカルと一緒に作っていったらいいなと思う。先日事務局とお話をさせてもらったが、皆さんが望まれるスペースでちょっとしたお茶が飲めるようなところがあったりしてもいいんじゃないかと思う。実はコミユカルが引っ越してくるときに意見の一つとしてあった。スペース的に少し狭いというので実現はしていないが今後できたらいいなということで、一市民として意見を言わせていただく。

委員：飯高は3か所あって、特に香肌小学校は15人前後の小学校だが、火曜日は開放型で火曜日はいつもイベントをしてくれている。子どもたちの群読やコーラスなど、子どもたちが地域の人に何かを発表する場にしてきていて、それを地域のおじいちゃんおばあちゃんが楽しみにして来てくれるような、そういう日に開放型の日をしてくれていたりとか。開放型図書館には私たちが読めるような雑誌が置いてあるのでそういうのを見に行くとかで利用している。また年に1回、雑誌を持って行っていいですよという日があって、そういうときに貰いに行ったりしている。でもやはり利用時間が13時30分から15時30分という、働いている人は利用できない時間なので限られてしまって、18時ぐらいまでやってくれていたら保育園終わってから行けるのにとか、午前中もやってくれていたらとか、色々あるがそういう形で活用している。

委員：ビブリオバトルは何回出させてもらったかなど。次はこの本を紹介しようというかなりストックがあるのでそうやって紹介をしているが、私は特にノンフィクションの面白さに惹かれているので必ず新書のコーナーに目をやる。私はビブリオバトルに出させてもらっているので、中学生たちがこんな本を読んでいるというのは本当に貴重だと思う。読書離れということもあるし子どもたちへのこういう刺激はすごく大事だと思うし、ビブリオバトルで色々な本が紹介されて拡充されていくと、読んでみていいなと思うことが出させていただいてよくある。皆さんの興味は色んなところにあるんだということがよくわかるし、中学生や高校生が出てきてくれるというのは頼もしいし、もっとこのシステムが色々な形で拡充していくといいなと思う。ビブリオバトルとは直接関係ないが、新館図書というのが夕刊三重の中で紹介されていて、新聞によっても違うがあれを私は楽しみにしててそこから読んでみたいなど

入って行ったりする。新館図書の中やこれがいいよというのを色々な形で図書館の中で紹介されていくといいなと思う。

#### ④意見交換・提言

委員：さっきの実績とかの関係になるのかもしれないが、電子図書館のことに  
ついて、昨年度に第1回の時の意見として電子図書館の実績を知りたい  
というのを入れさせていただいて、第2回るときにその統計を出して  
いただいととても興味深く読ませていただいた。続けていただけるのかと  
思っていたら今回は無くてちょっとがっかりしたというのもあって、図  
書館として電子図書館をどういう位置付けで見られているのか。重きを  
置かれるのであれば実績報告の中に常に入れていただいた方が良いの  
ではないかと思う。私も時々利用するが操作の仕方がよくわからないと  
ころもあって、読み上げできると書いてあってもうまく読み上げできな  
かったりとか。行事でも良いし、何か電子図書館の利用教室みたいな  
のを企画していただくと利用が広がるかなと思う。私も結局はそこで止  
まってしまってなかなか利用しない。松阪ナビで新しい図書がどんど  
ん入りましたよという情報だけは入ってくるがそこでやめてしまうので、  
そういうきっかけが何かあると良いと思う。

委員：電子図書館というのは何か。

館長：ご登録いただければスマホやパソコンやタブレットで本がデジタルでお  
読みいただけるサービスである。事前に登録が必要にはなり、松阪市在  
住、在学、在勤の方のみのサービスとなっているが、カードを持ってき  
ていただいていて証明書を見せていただければIDを発行させていただ  
くので、そちらでご利用していただくことができる。確かに利用が難し  
いという声があって、よく「ここから進まないんです。」という電話がか  
かってきて、同じ画面を見ながら説明をしているスタッフもいるので、  
同じ画面を開けないと何がどう操作していいのかというのがわからな  
くて、画面が後ろに隠れてしまうときもあるそう。一応こういうふう  
に借りたら良いですよというのは電子図書館のホームページに書いてあ  
るのですが、確かに難しいところはあるのかなと私も少し思うところも  
ある。電子図書館を使ってみようというイベント的なことでしょうか。

委員：どういう形が良いのかはわからないが、どうしても少人数になってしま  
う。今 YouTube がすごくあるので操作動画みたいなものをホームペー



ジに上げてもらおうと、今の人たちはそういうのに慣れているので、例えばパソコンでその動画を見ながらスマホで操作したりするような。そういうふうにしていただくと一番スムーズ。紙に書いてこれタップしてとかやるよりは、画面上で見た方がスムーズにできるかなと思う。せっかく予算を使って購入いただいているので。

館長：持ち帰らせて検討させていただく。実績というのは昨年緊急事態宣言が出て、9月に臨時休館という形を取らせてもらったときに利用が上がって、コロナ禍ということで図書館に来館しなくても本を見ていただけるサービスがあるということでこちらのスタッフも勧めてきた成果もあったのかなと思うが、やはり登録していただいても利用の仕方がというのがないと残念かと思うので何か方法はないか検討する。

事務局：実績の報告の方は今回できてなかったもので、まとめたものをお帰りの際にお渡しできるように準備をさせていただこうと思う。

委員：第三次松阪市子ども読書活動推進計画だが、今細かく見ている余裕がないのでざっくりしたお願いになるが、学校図書館の充実というのがかなり大事になってくるかと思う。学校図書館に今は司書さんが常駐されてなくて、回数も数年前に比べて減ったというふうにお話しされていた。なかなか仕事が回っていかないと試してみえた。週1回で本の整理も追いつかないぐらいで、子どもに読書を勧めるとかこういう本が面白いよとか、ビブリオバトルについてやってみようとかそういうことをする余裕もないので、司書さんの派遣回数を確保できるように人件費の予算を取っていただきたい。

事務局：実際、司書派遣が学校読書室の活性化には必要だと思う。現状として、中学校は週1回程度、小学校は月2回程度になっている。1週間に1回も来ていない現状は確かにある。ここの部分については基本人件費になってしまう。今の段階で約2,500万円の予算で司書派遣をしている。単純にこれを倍にしようとする、非常に財政の厳しい中で、私どもも工夫しながら今年は予算を400万円ほど増やした部分もあるが雀の涙のようになってしまっている。これから努力は続けるがやはり今の予算というのは現状の枠というのがあって、どうしてもそこから上乗せしていくというのはそれなりの理由や理解が必要になってくる。私どもも引き続き努力したいと思っているが、皆さんの要望にお応えできていないの

は本当に申し訳ないが、今後も努力をしたい。読書ボランティアさん、学校、教育委員会の三者でうまく連携を図りながらやっていきたい。

委員：私は掬水の図書館のボランティアをしているが、数年前から司書さんが来られるようになって、月2回ではあるがずいぶん前に比べたら改善されて前進していると私は思っていたので、そういう意見もあると一言、言わせていただく。

委員：学校図書館もそうなら地域開放型図書館の司書さんの派遣も、1週間に1回でしかも2時間という短時間で、コロナの間は人も少なかったと思うが、これからは参加するとスタンプがもらえるというのも考えていてそれが10月から始まると言っていたのだが、司書さんの派遣回数が少ないと時間を見ながら慌てて走ったこともあった。できれば予算を取っていただいて、司書さんの派遣回数や時間そのものを増やしていただけたらと。学校図書館だけでなく地域開放型図書館も思っている。また、先ほどの電子図書館のことについて、今回かなり触れられるんじゃないかと思って事前に勉強もしていたが、やはり私たちの世代になるとデジタル用語というものにアレルギーがあって頭から中止してしまうというところもある。やはりそれなりに勉強をしていかないと世の中についていけないという気もしている。またリードしていただきたいと図書館には思っている。

委員長：いろんなご意見いただきありがとうございます。予算の問題はどこにどう使うかが課題ですが、私は地域によって格差がないようにと伝えてきて、成果は今日明日すぐでなくても一歩ずつ進んでいると感じている。今日こうしていろんなご意見をいただきながら委員が集まった。今後もよろしく願いしたい。

以上 15時30分終了